

やまぎん

アジアニュース

平成 30 年 5 月

●釜山支店Tel010-82-51-462-3281 ●青島支店Tel010-86-532-85766222 ●大連支店Tel010-86-411-83705288
●香港駐在員事務所Tel010-852-2521-7194



【青島支店】

～青島から日中友好の架け橋を～

青島支店のCSR活動について

1. はじめに

山口銀行青島支店は、山口銀行本店所在地の下関市と中国山東省青島市が友好都市である関係から、青島の日系金融機関としての歴史は古く 1985 年から青島事務所、1993 年には青島支店として営業を開始しています。現在でも中国で営業している地方銀行は、弊行を含めて横浜銀行、名古屋銀行の 3 行で、その中でもいち早く 2004 年より人民元業務の取扱いを開始、2011 年からは人民元クロスボーダー決済業務の取扱いを開始するなど、フルバンキングでの営業活動を行っています。

山口銀行青島支店では現在、日本人 8 名、中国人 18 名の総勢 26 名で営業しています。弊行のお客さまは大連支店（遼寧省）も含めると、北は遼寧省から南は広東省まで中国大陸全域にわたり、様々な地域・業種・業態・規模のお客さまとのお取引により多くの情報を集約し、融資、預金、資金決済業務だけでなく、情報のご提供、中国進出支援、ビジネスマッチング等で皆様のお役に立てるように日々頑張っております。

弊行では、青島に拠点を構えて以降、本業の銀行業は勿論のこと、現地での人材育成・教育支援、文化交流にも積極的に取り組んでいます。今回はその活動の一部をご紹介しますのでいただきます。

2. 青島日本人学校への図書寄贈について

2018 年 4 月、青島日本人学校の児童・生徒への教育支援を目的に、山口銀行は小中学生向け書籍 164 冊を寄贈し、同校にて贈呈式を行いました。寄贈図書は、児童・生徒の意向も踏まえ、同校校長および教職員の方々にリストアップしていただいた中から贈りました。



青島日本人学校の沿革は、2000年に前身の青島日本人補習授業校として開校し、2004年4月に中国山東省で唯一の日本人学校として設立されました。2008年10月には青島在住日本人の悲願であった青島日本人学校新校舎も完成し、現在に至っています。

2018年4月の新年度開始時の児童・生徒数は、小学部62名、中学部13名の合計75名です。ピーク時の2011年4月の児童・生徒数は113名（小学部89名、中学部24名）でしたから、近年は日本人駐在員の減少や単身での駐在員が増え、児童・生徒数は伸び悩んでいます。

青島日本人学校では小学校低学年から既に、ネイティブによる中国語・英語の授業が行われることや、日常生活の中で普段から中国語を耳にしていることで、中国語を話せる児童・生徒も多数就学しています。また、中国の小中学校との交流や職場体験等を通じ、小さい頃から中国文化・自然・歴史、中国人の生活スタイルや考え方に触れており、将来の日中友好の架け橋となる、心豊かな、国際感覚の優れた、たくましい子供たちが育っています。

ただ、青島には日本の書籍を取扱う書店がないため、日本の書籍を簡単に手に取り読書ができる環境にはありません。ですから、青島日本人学校の図書室の扉は、日本の書籍、活字に触れる機会が少ない学び盛りの子供たちにとって、夢と希望に満ちた「冒険の扉」であり、可能性を限りなく広げてくれる「魔法の扉」ではないでしょうか。

山口銀行青島支店では引続き、各活動を通して、青島在住の児童・生徒の支援を行うことで、青島で働く方々が家族で安心して過ごせるように、日系企業が進出しやすい環境づくりに貢献していきたいと考えています。



3. その他の人材育成・教育支援、文化交流活動

山口銀行では、青島市政府や各種学校、教育機関の方々からご協力いただき、下記活動も継続して行っています。

【下関市立川中西小学校と青島上清路小学校の児童交流支援】

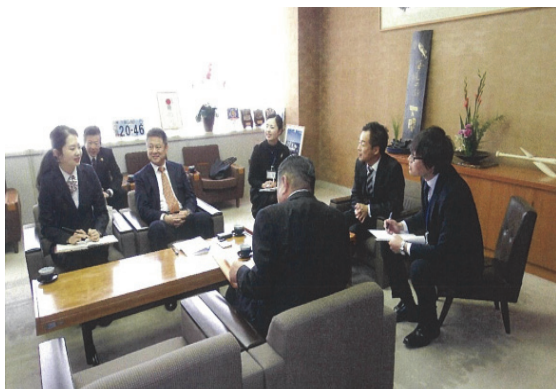
1993年より毎年、青島上清路小学校の児童3名および教職員1名を下関市立川中西小学校に招待し交流支援を行っています。弊行頭取は、青島上清路小学校の名誉校長にも就任しており、一昨年は同校を訪問し児童の熱烈な歓迎を受けました。



【日本への留学生および短期研修生の派遣支援】

1986年より下関市立大学への留学生派遣支援を行っています。下関市立大学への留学生は累計で60名を数え、その多くが現在、青島市政府等関係各機関の中核となって活躍されています。

また、1992年より中国国内金融機関の職員を対象に短期研修生の受入れも行い、弊行本店や日本国内の営業店、市場営業部等で講習を実施しています。日本文化を知ってもらうため、下関市の長府庭園等の観光も行っています。



【日本語弁論大会の開催】

1992年より青島において山口銀行杯日本語弁論大会を開催しており、昨年2017年で第16回目となり、青島市人民政府から、青島の日本語人材の育成に大きく貢献していると高く評価されています。近年は優勝者等の日本への派遣も行い、実際に日本の文化に触れていただく機会を設けております。



山口銀行では今後も、様々な活動を通して、日中の人材育成・教育支援、文化交流活動に少しでもお役に立ちたいと考えております。

4. 最後に

昨今の目まぐるしく変わる世界情勢において、日中関係は様々な問題を抱えながらも、お互いの緊密度は高まっています。

山口銀行は中国山東省青島市に1985年に進出以降、様々なお客さま、関係者の方々のご支援により30年以上にわたり営業活動を継続することができ、心から感謝しております。

今後も、日中間の経済活動の橋渡しは勿論のこと、人材育成・教育支援や文化交流の分野においても、小さな活動を一つ一つ積み重ねていくことで「日中友好の架け橋」になれると確信しています。

以 上